

第74期

中間事業報告書

平成23年4月1日から
平成23年9月30日まで

松本油脂製薬株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のお引立を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年9月30日をもって終了いたしました第74期上半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業の概況につき、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、今年3月に発生した東日本大震災の影響から徐々に落ち着きを取り戻し、停止していた生産活動も再開に転じております。しかし、欧米諸国の景気停滞懸念や中東情勢の緊迫化により、内需拡大を続けている中国をはじめとする新興国にもその影響が見られ、世界経済は緩やかな減速となっております。さらに国内では円高、原料高が続き本格的な回復には至っておらず、景気の先行きは不透明感が増しております。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、生産拠点の海外移行を含む適地生産が概ね完了しており、その影響は軽微であります。一方海外繊維産業では、牽引役の中国での需要低迷、製品安による大幅な生産調整がありました。アジア地域やその他の地域におきましては活況が続いております。

非繊維分野におきましては、国内向けでは自動車産業において原材料不足や電力不足が解消し、回復が急ピッチに進んでおり、住宅関連は補修用材料の販売が好調に推移しております。また海外向けでは、中国をはじめとするアジア諸国での需要が旺盛で、特に自動車産業向けは拡大しております。その一方で旺盛な需要により原料価格の上昇を招いており、引き続き製品価格の適正化をはかっております。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高14,080百万円（前年同期比108.7%）、営業利益662百万円（前年同期比85.1%）、経常利益533百万円（前年同期比94.7%）、中間純利益127百万円（前年同期比38.9%）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

- ① 界面活性剤部門における当中間連結会計期間の売上高は10,158百万円（前年同期比107.6%）、営業利益は463百万円（前年同期比82.3%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社への販売は底を打ち、昨年の実績を上回りました。海外合繊メーカーへの販売は引き続き中国向けが好調で、売上高1,512百万円（前年同期比103.5%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では消費低迷と繊維製品の低価格化による海外シフトが完了し、低迷していたテキスタイル分野の加工量が拡大しました。炭素繊維は航空機、産業資材向けを中心に回復し、処理剤の販売が増加しました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では工業用繊維分野、衣料用分野、弾性繊維分野、高機能繊維分野とも好調で、特に中国では設備の増設・増産が行われていることにより販売金額が増加し、売上高8,160百万円（前年同期比107.7%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、縮小傾向であった繊維全般の加工も下げ止まり、関連加工剤の販売は昨年実績を上回りました。化学工業分野では洗浄剤原料の販売が回復し、さらに原料価格の高騰による製品価格への転嫁をはかっており、売上高485百万円（前年同期比119.4%）となりました。

- ② その他部門における当中間連結会計期間の売上高は3,922百万円（前年同期比111.8%）、営業利益は199百万円（前年同期比92.3%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布向け製織用糊剤の販売は国内生産が縮小する中で堅調に推移しました。非繊維関連では、化粧品原料は堅調に推移しており、建材関係では住宅着工件数の低迷が続いておりますが、補修用途の拡大で有機高分子製品が回復傾向となりました。自動車産業向けは国内減少分を海外拡大で補い、ゴム成型品加工剤等の販売も好調に推移しております。

当連結会計年度の見通しにつきましては、売上高28,300百万円、営業利益1,400百万円、経常利益1,300百万円、当期純利益600百万円を目標として全社を挙げてより一層努力する所存でございます。

中間連結貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	30,586	流 動 負 債	8,045
現金預金	15,748	買掛金	6,421
受取手形及び売掛金	7,846	短期借入金	700
有価証券	1,765	未払法人税等	37
商品及び製品	1,844	賞与引当金	108
仕掛品	443	その他	777
原材料及び貯蔵品	1,329	固 定 負 債	432
繰延税金資産	509	退職給付引当金	247
その他	1,104	その他	185
貸倒引当金	△4		
固 定 資 産	15,069	負 債 合 計	8,477
有 形 固 定 資 産	4,987	純 資 産 の 部	
建物及び構築物	2,456	株 主 資 本	38,049
機械装置及び運搬具	1,822	資 本 金	6,090
土地	531	資 本 剰 余 金	6,517
建設仮勘定	39	利 益 剰 余 金	27,186
その他	137	自 己 株 式	△1,744
無 形 固 定 資 産	14	その他の包括利益累計額	△1,082
投 資 そ の 他 の 資 産	10,067	その他有価証券評価差額金	△884
投資有価証券	8,714	為替換算調整勘定	△198
長期貸付金	188	少 数 株 主 持 分	211
繰延税金資産	590		
その他	576	純 資 産 合 計	37,178
貸倒引当金	△1		
資 産 合 計	45,656	負 債 ・ 純 資 産 合 計	45,656

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 13,224百万円
 2. 保証債務 281百万円
 3. 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。
 4. 1株当たり純資産額 3,632円02銭
 1株当たり純資産額の算定上の基礎
 中間連結貸借対照表上の純資産の部の合計額 37,178百万円
 純資産の部の合計額から控除する金額
 少数株主持分 211百万円
 普通株式に係る中間期末の純資産額 36,967百万円
 1株当たり純資産額の算定に用いられた
 中間期末の普通株式の数 10,178千株

中間連結損益計算書

〔平成23年4月1日から
平成23年9月30日まで〕

(単位：百万円)

科 目	内 訳 金 額	金 額
売 上 高		14,080
売 上 原 価		11,481
売 上 総 利 益		2,599
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,937
営 業 利 益		662
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	71	
そ の 他 の 収 益	103	175
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	4	
投 資 運 用 損	167	
為 替 差 損	127	
そ の 他 の 費 用	4	303
経 常 利 益		533
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	2	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	293	
そ の 他 の 損 失	2	298
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益		235
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	20	
法 人 税 等 調 整 額	66	87
少 数 株 主 損 益 調 整 前 中 間 純 利 益		147
少 数 株 主 利 益		19
中 間 純 利 益		127

- (注) 1株当たり中間純利益 12円56銭
- 1株当たり中間純利益の算定上の基礎
- | | |
|------------------|----------|
| 中間連結損益計算書上の中間純利益 | 127百万円 |
| 普通株式に係る中間純利益 | 127百万円 |
| 普通株主に帰属しない金額 | -百万円 |
| 普通株式の期中平均株式数 | 10,178千株 |

会 社 の 概 況 (平成23年 9月30日現在)

1. 主要な事業内容

	品 目	用 途	主 要 製 品
界 面 活 性 剤 部 門	陰イオン界面活性剤	織 維 工 業	化合繊紡糸紡績油剤、チーズ用柔軟平滑剤
		農 薬 工 業	農薬防疫用乳化剤
		ゴ ム 工 業	防着、離型剤
洗 剤 工 業		食器、食品洗浄剤	
非イオン界面活性剤	織 維 工 業	化合繊紡糸紡績油剤、コーニングオイル、フィラメント 織布用経糸油剤、精練洗浄剤、染色助剤	
	鉄 鋼 金 属 工 業	圧延油、作動油、金属洗浄剤	
	製 缶 工 業	成型用油剤	
	樹 脂 工 業	合成樹脂用練込帯電防止剤	
	香 粧 品 工 業	乳化剤	
公 害 防 止 産 業	流出油処理剤		
陽・両性イオン界面活性剤	織 維 工 業	柔軟仕上剤、チーズ用柔軟平滑剤、永久通気性撥水剤	
	樹 脂 工 業	合成樹脂用帯電防止剤	
	香 粧 品 工 業	洗剤原料	
そ の 他 部 門	高分子・無機製品	織 維 工 業	経糸用糊剤、風合改良剤、繊維加工剤
		建 材 工 業	壁材用接着補強剤、軽量化充填剤
		機 械 工 業	合成ダイヤモンド
		電機・機械工業	磁性流体
		自 動 車 産 業	軽量化剤
		印 刷 工 業	インキ、塗料加工剤
		香 粧 品 工 業	触感向上剤、紫外線防止剤
		エレクトロニクス産業	感熱用薬剤、電池用多孔化剤
仕 入 商 品	建 材 工 業	リシン用基剤樹脂	
	織 維 工 業	経糸用糊剤	

2. 企業集団の営業所及び工場

(1) 当社

営業所	大阪営業所	東京営業所	名古屋営業所
	広島営業所	金沢営業所	
工場	本社製造部門	静岡製造部 (袋井市)	大阪製造部 (高石市)

(2) 子会社

工場	インドネシア工場
----	----------

3. 取締役及び監査役

会社における地位	氏名
代表取締役社長	木村直樹
代表取締役専務	矢野真剛
専務取締役	薦谷幹男
常務取締役	渡邊潤
常務取締役	木村芳樹
取締役	高橋修
取締役	田中憲吾
取締役	伊藤茂樹
取締役	松本新太郎
常勤監査役	増田俊明
常勤監査役	森下輝久
常勤監査役	吉岡孝
監査役	叶智加羅

(注) 常勤監査役吉岡孝氏、監査役叶智加羅氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の概況 (平成23年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数 40,000,000株
2. 発行済株式の総数 11,281,629株
3. 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
松本興産株式会社	2,105,390株	20.69%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,059,246	10.41
木村直樹	920,619	9.05
松栄産業株式会社	867,423	8.52
有限会社木村直樹	519,750	5.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	338,700	3.33
松本新太郎	318,725	3.13
岩田みち子	289,772	2.85
相田襄治	225,775	2.22
木村芳樹	216,188	2.12

(注) 当社は、自己株式1,103,508株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	500株
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定める日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページ)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
公告方法	大阪市において発行する「日本経済新聞」に掲載しております。
上場証券取引所	大阪証券取引所（JASDAQ市場）

※ご注意

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及び照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。